



# 城北小だより

11月号

令和6年10月31日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数695名

◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

## 時間を守るということ

校長 中村 篤

10月は3年生校外学習（キューピー工場、浦和くらしの博物館民家園）、5年生校外学習（川口SKIPシティ、武州中島紺屋）、1年生遠足（東武動物公園）、4年生校外学習（東秩父和紙の里、利根大堰）など、様々な学年行事がありました。どの学年の子どもたちも普段なかなかできない体験活動に、楽しそうに取り組んでいました。活動を終えた後の満足そうな顔を見たり、感想を聞いたりすると、体験活動の重要性を改めて感じます。11月16日（土）には校内音楽会（保護者の方へ公開）を実施します。子どもたちは本番に向けて練習を頑張っています。ぜひ、昨年度より一歩成長した姿にご期待ください。

様々な行事を行う中で、頑張っていて取り組んでいる子どもたちの姿にすばらしいな、頼もしいなと思う反面、気になる出来事がありました（よいところは本当にたくさんあるのですが、本校の課題の一つとしてあえてネガティブな内容になってしまうことをご容赦ください…）。10月23日のさいたま市教育委員会による指導訪問では、すべての学級・教員で公開・研究授業を行いました。多くの先生方や指導主事が授業を参観し、いつもとは違った雰囲気緊張しつつも、子どもたちは真剣に授業に臨んでいました。そのような中、始業のチャイムが鳴っても教室にいない子が数名いたのです。多くの参観者がいるにもかかわらず、数分遅れて特に悪びれる様子もなく堂々と入ってきました。また、ある学年の校外学習では、朝の集合時間に遅れた子が数名いたのですが、すでに整列が済んでいる友だちが見ている中、急ぐそぶりも見せず堂々と歩いて来ました。このことで周りからどのように思われるのかわかっていないことに、残念な気持ちになりました。そこで11月に向けての校長講話では次のような話をしました。

業間休みや昼休みに、たくさんの方が元気よく校庭で遊んでいます。休み時間終了5分前には放送が流れ、みんな一斉に昇降口に向かって走って行きます。「ちゃんと時間を守っていてほしいな」と思いながら、いつもその様子を見ています。しかし、いつまでも遊ぶことをやめず、チャイムが鳴っても教室にいない人もいます。また、音楽室や体育館などに遅れてきても、平気な顔をしている人もいます。その人は気付いていないかもしれませんが、時間を守らないことで失うものがあります。それは「信用」です。

学校生活の中では、時間を守ることは大切です。遅れた人を他の全員が待つというようなことは、その全員の時間が無駄になってしまうことになります。例えば、授業の始まりが1分遅れたとします。1日6時間授業があると、1日に6分時間を失います。1年間では約200日学校があるので、6分×200日で1200分、なんとほぼ3日分の授業時間を失ってしまうことになります。

「時間を大切にすること」ということは、「友だちの時間も大切にすること」です。それが「友だちから信用される」ことにつながります。

時間を大切に、約束や期限を守ることは社会人として行わなければならないことの中でも最も大切なことの一つです。そのことを小学生の今からしっかりと伝えていく必要があると考えています。ご家庭でも時間を意識し、充実した過ごし方ができるよう、ご協力をお願いいたします。